

# 物理系薬学部会 総会

日時：2026年3月28日（土）11:50～12:50  
場所：第18会場（第3学舎 1号館 A棟 2F A202）



本日の総会資料はこちら

出席	118
欠席 (委任状あり)	104

## 報告

1. 2025年度活動報告
2. 2025年度決算報告

## 議題

1. 2026年度役員
2. 2026年度活動予定
3. 2027年度奨励賞募集
4. 2026年度学術集会
5. 2026年度予算
6. 2029・2030年度 部会長選出について
7. シンポジウムアナウンスなど

## 奨励賞授賞式

# 2025年度活動報告（1）

## 1. 総会の開催

日時：2025年3月27日(木) 12：00～13：00

場所：薬学会第145年会第6会場（福岡国際会議場2階203）

## 2. 部会奨励賞の授与

石井 千晴氏（九州大学大学院薬学研究院）

土井 直樹氏（岐阜薬科大学）

## 3. お知らせメールの発信

物理系薬学部会からお知らせ 数通

## 4. 学術集会の開催

# 部会登録のお願い

## ■会員情報システム「所属部会」チェックについて（本部より）

会員情報管理システムSMOOSYに設けられた会員マイページ内のチェック項目として「所属部会」の項目を設けておりますので、部会内でも周知いただき、ご対応の程お願いいたします。

---

会員マイページログインURL <https://psj.smooosy.atlas.jp/mypage/login>

ログイン後、「会員情報の変更」へ進んでください。

ログインにはご自身が登録されているメールアドレスとパスワードを使用します。

利用しているメールアドレスが不明・または現在無効になっている方は、

事務局会員担当（[kaiin@pharm.or.jp](mailto:kaiin@pharm.or.jp)）までお問い合わせください。

所属部会にチェックを入れていただく際は、その他のご登録内容に更新が必要な情報がないか、併せてご確認いただけますと幸甚です。

「メルマガ受信可」になっていないと、たとえ部会長が総会開催のためだといっても部会員のメールアドレスは教えてもらえないし、本部から代理送信を頼んでも、その対象にはなりません。何か頼むと3営業日以上の日数と担当理事の許可が必要となります。

# 2025年度活動報告（2）

## 部会主催

1. 第11回物理系薬学部会シンポジウム「躍動する物理系薬学研究のフロンティア」  
2025年3月27日 日本薬学会第145年会（福岡国際会議場）  
オーガナイザー 浜瀬 健司（九大院薬）、石濱 泰（京大院薬）
2. 第34回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2025）  
2025年6月14日（土）～15日（日）鈴鹿医療科学大学白子キャンパス6号館  
実行委員長 米田 誠治（鈴鹿医療科学大学薬学部）
3. 第37回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2025）  
2025年8月28日（木）～29日（金）東京たま未来メッセ  
実行委員長 柳田 顕郎（東京薬科大学）
4. 第22回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2025）  
2025年8月21日（木）～8月22日（金）北九州市国際会議場  
実行委員長 巴山 忠（福岡大学薬学部）
5. 第46回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム  
2025年11月6日（木）～7日（金）滋賀県立文化産業交流会館  
実行委員長 森田 真也（滋賀医科大学）





## 2025年度決算報告（3）

単位：円

事業名	交付金	事業収入	収入(合計)	支出(合計)
第34回金属の関与する生体関連反応 シンポジウム (SRM2025)	200,000			
第37回バイオメディカル分析科学 シンポジウム (BMAS2025)	200,000			
第22回次世代を担う若手のためのフィジカル・ ファーマフォーラム (PPF2025)	500,000			
第46回生体膜と薬物の相互作用シンポジウ ム	200,000			
物理系薬学部会	400,000	21	400,021	334,018
合計	1,500,000			

## 2026年度役員（世話人）

## 2026年度 物理系薬学部会 世話人名簿 2026/2/1 現在

氏名		所属	担当	専門領域
石濱 泰	部会長	京都大学大学院薬学研究科	会計	分析化学
清水敏之	副部会長	東京大学大学院薬学系研究科	研究担当委員長・賞選考委員長	物理化学
安井裕之	庶務幹事	京都薬科大学薬学部	広報	分析化学
齊藤貴士	2年目	北海道科学大学薬学部	研究	放射化学
村山 周平	1年目	昭和医科大学基礎薬学講座	研究	分析化学
谷中 冴子	1年目	東京科学大学	教育	物理化学
西田 紀貴	2年目	千葉大学大学院薬学研究院	研究	物理化学
浅井知浩	1年目	静岡県立大学薬学部	研究	物理化学
河原一樹	1年目	大阪大学薬学系研究科、2026年4月以降 大阪公立大学創薬科学研究科	教育	分析化学
萩森政頼	2年目	武庫川女子大学薬学部	教育	分析化学
長瀬健一	2年目	広島大学 大学院医系科学研究科	教育担当委員長	分析化学
岡崎 祥子	1年目	崇城大学薬学部	教育	分析化学
佐野紘平	2年目	神戸薬科大学	研究	放射化学
吉川 豊	拡大世話人	神戸女子大学 健康福祉学部	SRM	
宮本和英	拡大世話人	山口東京理科大学・薬	BMAS	
菱木麻美	拡大世話人	静岡県立大学	PPF	
中野 実	拡大世話人	富山大学	生体膜	

# 2026年度役員（世話人） 続き

氏名	担当	所属
淵上剛志	若手世話人	金沢大学医薬保健研究域 薬学系
淵 靖史	若手世話人	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
辻野博文	若手世話人	大阪大学大学院薬学研究科
小形公亮	若手世話人	京都大学大学院薬学研究科
菱木麻美	若手世話人	静岡県立大学薬学部
河野健一	若手世話人	広島大学大学院医系科学研究科
高田 誠	若手世話人	福岡大学薬学部
前川正充	若手世話人	東北大学病院薬剤部
東海林 敦	若手世話人	東京薬科大学薬学部
土井 直樹	若手世話人	岐阜薬科大学
大竹 裕子	若手世話人	近畿大学薬学部
鈴木 博元	若手世話人	千葉大学大学院薬学研究院
山崎 俊栄	若手世話人	神戸薬科大学薬学部
福澤 薫	2026年物理系薬学部会シンポジウム オーガナイザー	
東京薬大	2027年物理系薬学部会シンポジウム オーガナイザー	

小川 美香子	DEI-WG委員長	北大院薬
山田 健一	DEI-WG副委員長	九大院薬
加藤 くみ子	DEI-WG委員	国立衛研
北原 亮	DEI-WG委員	立命館大薬
菱木 麻美	DEI-WG委員	静岡県大薬
東海林 敦	DEI-WG委員	東京薬科大

# 部会長・副部会長・部会世話人・若手世話人

1. 世話人会は、部会長(議長)、副部会長、庶務幹事およびブロック推薦の世話人で構成し、年度の各シンポジウムの実行委員長は拡大世話人として必要に応じて参加する。
2. ブロック推薦の世話人は、北海道・東北(1)、関東(3)、北陸・東海(1)、近畿(2)、中国・四国(1)、九州(1)の各地区および分野調整枠(1)から括弧内の数だけ選出する。ブロック推薦の世話人の後任は、前任者が所属のブロックの中から推薦するが、推薦が無い場合は、部会長が推薦する。
3. 世話人の任期は2年とする。ただし、ブロック推薦の世話人のうち、約半分を毎年新メンバーとする。また、各シンポジウムの実行委員長の任期は1年とする。
4. フィジカル・ファーマフォーラム担当の数名の若手世話人をおく。
5. 部会長は、分析化学、物理化学、無機・放射化学(2巡で1回)の順で選出する。任期は2年とする。
6. 副部会長は、各担当分野から原則選挙で選ばれた次次期部会長(次期副部会長)候補者を世話人会で承認する。任期は2年とする。
7. 副部会長は、次期部会長となる。

# 2026年度活動予定

1. 総会
2. 奨励賞の授与、2027年度奨励賞の選考
3. メールマガジンの発行
4. 学術集会の開催
5. 委員会活動

研究委員会

教育委員会

DEI推進WG

ご要望は部会長まで

# 奨励賞規程

- ・ 部会奨励賞を設け、毎年、若干名に授与する。応募資格は、下記の通りとする。
- ・ 受賞年度の4月1日に満38歳未満で博士の学位を有するもの。物理系薬学部会員でありかつ3年以上継続して薬学会員である者。
- ・ その業績の一部を、薬学会年会、薬学会支部大会あるいは物理系薬学部会シンポジウムで発表した者。
- ・ 審査は書類審査とし、部会世話人（ただし、部会長、拡大世話人および若手世話人を除く）が行い、部会長が承認する。ただし、部会世話人が候補者と共同研究を行うなど利益関係にある場合は、当該世話人は選考には加わらない。
- ・ 薬学会奨励賞受賞者および当該年度の薬学会奨励賞受賞候補者は授賞対象から除外する。
- ・ 支部奨励賞を含む薬学会の各賞受賞者で、その授賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象から除外する。

# 2026年度奨励賞

小形 公亮 氏（京都大学大学院薬学研究科）

「キナーゼ基質選択的高感度リン酸化プロテオーム解析基盤の構築」

宗兼 将之 氏（金沢大学医薬保健研究域薬学系）

「ナノ粒子を基盤とした核医学診断・治療薬の開発」

**2027年度奨励賞は、2026年5月1日から8月末日まで受け付けます。  
詳しくは部会ウェブページをご覧ください**

# 2026年度学術集会

## 部会主催

1. 第12回物理系薬学部会シンポジウム「物理系薬学が拓く創薬科学の未来」  
2026年3月28日 日本薬学会第146年会（関西大学千里山キャンパス）  
オーガナイザー 清水 敏之（東大院薬）、福澤 薫（阪大院薬）、上田 卓見（阪大院薬）
2. 第35回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2026）  
2026年6月6日（土）～7日（日）神戸女子大学ポートアイランドキャンパス  
実行委員長 吉川 豊（神戸女子大学 健康福祉学部）

## 部会共催

3. 第38回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2026）  
2026年9月3日（木）～4日（金）山陽小野田市立 山口東京理科大学  
実行委員長 宮本 和英（山口東京理科大学 薬学部）
4. 第23回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2026）  
2026年9月10日（木）～9月11日（金）御殿場高原 時之栖  
実行委員長 菱木 麻美（静岡県立大学）
5. 第47回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム  
2026年10月8日（木）～9日（金）富山大学黒田講堂  
実行委員長 中野 実（富山大学）

# 物理系薬学部会シンポジウム

- 部会員が一堂に会し、研究・教育に関する情報を交換する場  
(物理系薬学の教育・研究を展望するシンポジウムは解消)
- (部会奨励賞の授賞式・受賞講演の場)
- 薬学会年会期間中に開催
- オーガナイザーは、年会の担当者および副部会長

### [S41] 「物理系薬学が拓く創薬科学の未来」

2026年3月28日(土) 13:10 ~ 15:10 第17会場 (A201 第3学舎1号館 A棟 [2F])

● 13:10 ~ 13:15

オーガナイザー挨拶  
清水 敏之 (東大院薬)

● 13:15 ~ 13:40

[S41-1]  
アミノ酸残基のキラリ識別分析法開発と劣化タンパク質におけるD型残基スクリーニング

○石井 千晴<sup>1</sup>、村田 快太<sup>1</sup>、秋田 健行<sup>1</sup>、三田 真史<sup>2</sup>、村上 祐介<sup>3</sup>、植田 正<sup>1</sup>、浜瀬 健司<sup>1</sup> (1. 九大院薬、2. KAGAMI、3. 九大院医)

[PDFダウンロード](#) [ブックマーク登録](#)

● 13:40 ~ 14:05

[S41-2]  
固相重合技術による機能性共重合体の合理的設計に基づくDDSキャリア開発

○土井 直樹<sup>1</sup>、山内 行玄<sup>2</sup>、笹井 泰志<sup>3</sup>、葛谷 昌之<sup>1</sup>、近藤 伸一<sup>1</sup> (1. 岐阜薬大、2. 松山大薬、3. 岐阜医療大薬)

[PDFダウンロード](#) [ブックマーク登録](#)

● 14:05 ~ 14:25

[S41-3]  
ねじれ型分子内電荷移動に基づいた蛍光プローブの創製

○花岡 健二郎<sup>1</sup> (1. 慶應大院薬)

[PDFダウンロード](#) [ブックマーク登録](#)

● 14:25 ~ 14:45

[S41-4]  
がんセラノスティクスを指向したantibody-radionuclide conjugateの分子設計戦略

○中島 一磨<sup>1</sup>、渡邊 裕之<sup>1</sup>、小野 正博<sup>1</sup> (1. 京大院薬)

[PDFダウンロード](#) [ブックマーク登録](#)

● 14:45 ~ 15:05

[S41-5]  
生成AIとシミュレーションの融合による分子設計

○寺山 慧<sup>1,2</sup> (1. 横浜市大生命医、2. 東京科学大生命理工)

[PDFダウンロード](#) [ブックマーク登録](#)

● 15:05 ~ 15:10

総括  
福澤 薫 (阪大院薬)

2027年度物理系薬学部会シンポジウムのオーガナイザーは  
三島正規 (ホスト校・東京薬大)、清水敏之 (副部会長・東大院薬)

# BMAS主催団体について

@2025-08-28 BMAS2025 世話人会

主催は公益社団法人 日本薬学会  
部会による学術集会の主催については、  
部会運営指針 として詳細なルールがある。

<https://www.pharm.or.jp/bukai/shishin.pdf>

第3章 学術集会

第4章 学術集会 会計処理

→ 6ページにわたって詳細なルール

- 前年度10月に薬学会本部に提出する予算計画書から変更がある場合は、**部会長を通じて理事会にて審議**ののち承認、というステップが毎回必要になる。
- 会計処理が非常に煩雑。税金関連の縛りが多い。  
→ 公益法人としての遵法義務に対する対応として、年々厳しくなっていく方向
- 1回きりの実行委員会が負うべきタスクが非常に多い（疲弊する一方）
- 一方で、法人資格を使えるので、口座の開設等が楽、インボイス対応あり。納税も本部対応。
- 本部からの協賛金あり。赤字が出ても本部が負担（黒字が出たら“召し上げ”）

提案：BMAS実行委員会主催による学術集会の開催とし、薬学会、部会は共催（協賛金なし）とする。

銀行口座は、実行委員長個人名義となる。インボイス対応対象外事業者となる。他の非法人団体や公益法人の下部機関が開催している学術集会を参考にできる。

**BMAS 2026 は薬学会共催とする。**

## 部会運営指針

### 第1章 部 会

#### 1 活動の目的

部会の活動は、薬学研究の高度化や若手研究者・薬学生の育成を主眼に各専門領域の更なる進展と活性を期すことにあり、研究者の自由な参加を基盤としたシンポジウム、研究会等の学術集会を活動の中核に据えるものとする。

また、活動は、すべて日本薬学会の名の下に行うものとし、部会の活性化を本学会会員の増強に連動させていくものとする。

#### 2 部会の構成

##### 1) 常任世話人

## 2026年度予算

• 単位：円

事業名	交付金	事業収入	収入(合計)	支出(合計)
第35回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (SRM2026)	200,000	515,000	715,000	709,427
第38回バイオメディカル分析科学シンポジウム (BMAS2026)				
第23回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム (PPF2026)	500,000	780,000	1,280,000	1,310,000
第47回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200,000	790,000	990,000	990,000
物理系薬学部会	400,000	0	400,000	400,000
合計	1,300,000	2,085,000	3,385,000	3,409,427

# 2029・2030年度 部会長の選出について

## これまでの部会長

2009～2010年度	佐治英郎	(無機・放射)
2011～2012年度	升島 努	(分析)
2013～2014年度	松崎勝巳	(物理化学)
2015～2016年度	萩中 淳	(分析)
2017～2018年度	嶋田一夫	(物理化学)
2019～2020年度	飯田靖彦	(無機・放射)
2021～2022年度	船津高志	(分析)
2023～2024年度	加藤博章	(物理化学)
2025～2026年度	石濱 泰	(分析)
2027～2028年度	清水敏之	(物理化学)

**2029～2030年度 (無機・放射)** ← **2026年度中に選出**

## 前回の部会長の選出方法

教授職を担っている**物理化学系会員**の中から選挙にて選出する。  
但し、部会長経験者を除く。  
→候補者リストから1名に投票し、決定する。



# 第35回 金属の関与する生体関連反応シンポジウム (SRM2026)

@神戸女子大学 ポートアイランドキャンパス  
2026年6月6日(土)~7日(日)

金属が静謐に放つ静かな煌めき

## 討論主題

- ・ 金属イオンの細胞内輸送
- ・ 金属元素および化合物の生理活性や体内動態
- ・ 金属酵素の反応機構とそのモデル
- ・ 金属元素及び化合物の医療への応用
- ・ 金属イオン・金属含有タンパク質による遺伝子発現の制御  
(金属には、セレンやヒ素、アスタチンなどの擬金属も含める)

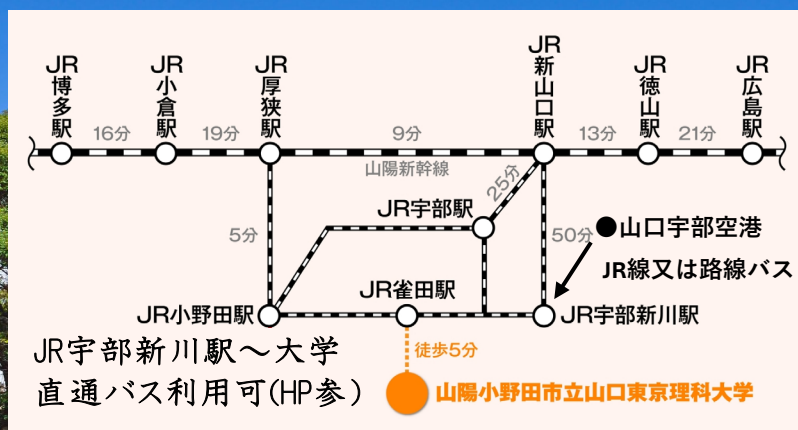
# 第38回 バイオメディカル分析科学シンポジウム

## BMAS2026 「融合が導く革新：分析科学の未来像」

会場：山陽小野田市立 山口東京理科大学

会期：2026年9月3日（木）～4日（金）

講演申込：4月中旬～6月26日(金)



実行委員長：宮本 和英

主催：BMAS実行委員会

共催：日本薬学会、後援：日本分析化学会、クロマトグラフィー科学会

# 第23回 次世代を担う若手のための フィジカル・ファーマフォーラム (PPF2026)

会期：2026年9月10日（木）～11日（金）

主催：日本薬学会 物理系薬学部会

会場：御殿場高原 ときのすみか 時之栖（静岡県御殿場市）

実行委員：菱木 麻美（静岡県立大学薬学部）

古庄 仰（静岡県立大学薬学部）



## 問い合わせ先

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学薬学部生命物理化学研究室内

第23回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム事務局

TEL：054-264-5640

E-mail：[ppf2026gotemba@gmail.com](mailto:ppf2026gotemba@gmail.com)

PPF2026ホームページ：<https://sites.google.com/view/ppf2026>

# 第47回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

2026年10月8日（木）～9日（金）

富山大学黒田講堂

実行委員長 中野 実（富山大学）

# 日本薬学会第147年会

The 147th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

伝統と革新、創薬と医療に広がる  
薬学ダイバーシティの展開



2027 3.25(木) - 28(日)



会場 東京都 八王子市



いちようホール  
(八王子市芸術文化会館)



東京たま未来メッセ  
(東京都立多摩産業交流センター)



京王プラザホテル  
八王子



八王子エルシイ



八王子市  
学園都市センター

主催

日本薬学会第147年会組織委員会

組織委員長 袴田 秀樹 (東京薬科大学)

URL <https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/pharm147>



2027年度物理系薬学部会シンポジウムのオーガナイザーは  
三島正規 (ホスト校・東京薬大)、清水敏之 (副部会長・東大院薬)

# 36th International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Analysis (PBA2026)

06-07-2026 to 09-07-2026  
Ghent University, Ghent, Belgium

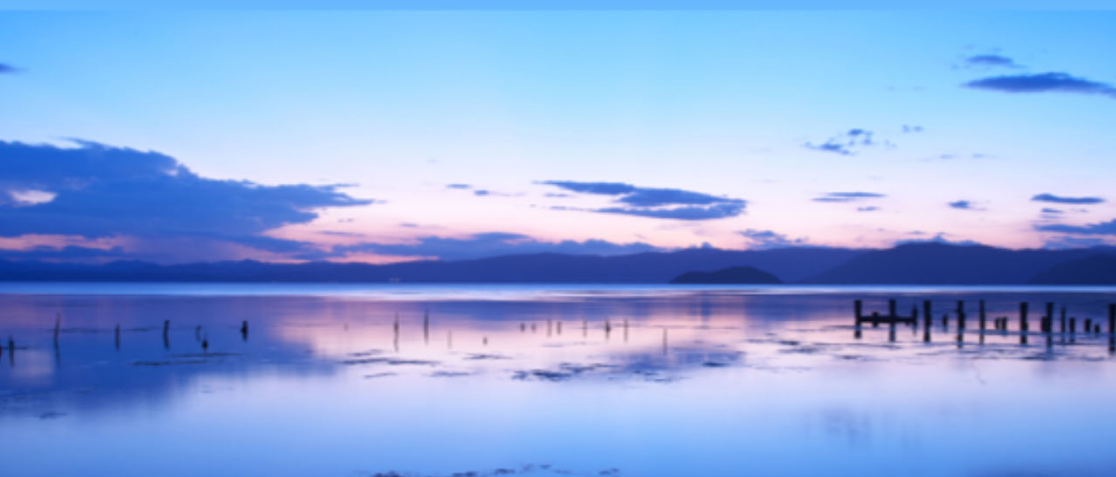


The 68<sup>th</sup> Japanese Conference on the Biochemistry of Lipids

# 第68回 日本脂質生化学会

開催日程：2026年 6月 4日 (木)～5日 (金)

会場：滋賀県立文化産業交流会館 (JR新幹線米原駅より徒歩数分)  
(米原駅まで新幹線で京都駅から19分、東京駅から2時間6分)



【特別講演】 杉本 幸彦 (熊本大学大学院生命科学研究部)  
「生命機能を紡ぐアラキドン酸代謝」

【シンポジウム1: 日本植物脂質科学研究会協力】  
「細胞内脂質輸送と代謝ダイナミクスが司る生理機能」  
木村泰久(京大)、鈴木淳(京大)、阿部一啓(北大)、  
石川寿樹(埼玉大)、小林康一(阪公大)、中村友輝(理研)

【シンポジウム2】  
「Lipid nanoparticles: 物理化学から疾患まで」  
横山信治(中部大)、中野実(富山大)、村上達也(富山県大)、  
山内祥生(東大)、河野健一(広大)、幸谷愛(阪大)

【一般口頭発表】

【懇親会】 ホテルサンルート彦根

事前参加登録締切 2026年4月6日(月)

実行委員長：森田 真也 (滋賀医科大学)

ホームページ：<https://www.shiga-med.ac.jp/jcbl2026/>

問い合わせ：[jcbl2026@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:jcbl2026@belle.shiga-med.ac.jp)

写真：公益社団法人 びわこビジターズビューロー

日本脂質生化学会・日本膜学会共催シンポジウム

# 「細胞膜構造」



開催日程：2026年 6月 3日 (水) 午後

会場：滋賀県立文化産業交流会館 (JR新幹線米原駅より徒歩数分)  
(米原駅まで新幹線で京都駅から19分、東京駅から2時間6分)

【講演】 森田 真也 (滋賀医科大学)  
「酵素蛍光定量法を利用した細胞成長および分化における細胞膜リン脂質組成変化の評価」  
中瀬 生彦 (大阪公立大学大学院理学研究科)  
「細胞分泌小胞とペプチド化学の融合DDS研究」  
川本 純 (京都大学化学研究所)  
「曲率が駆動する細菌膜小胞形成のダイナミクス—機能的に最小化された膜曲率制御?—」  
末次 志郎 (奈良先端科学技術大学院大学)  
「細胞膜突起由来の細胞外小胞による細胞間輸送」  
辻 琢磨 (北海道大学遺伝子病制御研究所)  
「膜張力が制御するタンパク質集合体の可動性と PI(4,5)P<sub>2</sub>濃縮」  
池ノ内 順一 (九州大学大学院医学研究院)  
「上皮細胞間の接着形成に関わる膜ドメインの解析」  
鈴木 健一 (岐阜大学糖鎖生命コア研究所/国立がん研究センター研究所)  
「1分子・超解像顕微鏡観察による生細胞膜脂質ドメイン構造と機能の解明」  
植田 和光 (京都大学iCeMS)  
「ABCA1による細胞膜内コレステロール濃度勾配の形成とその生理的役割」

事前参加登録締切 2026年 4月 6日 (月)

実行委員長：森田 真也 (滋賀医科大学)

HP：[https://www.shiga-med.ac.jp/jcbl2026/Collaboration\\_symposium.html](https://www.shiga-med.ac.jp/jcbl2026/Collaboration_symposium.html)

問い合わせ：[jcbl2026@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:jcbl2026@belle.shiga-med.ac.jp)

写真：公益社団法人 びわこビジターズビューロー

THE 65TH ANNUAL MEETING OF  
THE NUCLEAR MAGNETIC RESONANCE  
SOCIETY OF JAPAN (2026)

# 第65回 NMR 討論会



<https://nmr65.mons.work/>

2026  
10 • 21 WED » 23 FRI

 タワーホール船堀 Edogawa-ku, Tokyo, Japan

## 【第65回NMR討論会 開催概要】

会期：2026年10月21日(水)～23日(金)

会場：タワーホール船堀

(東京都江戸川区 都営新宿線 船堀駅前)

口頭・ポスター発表 (若手ポスター賞選考)

海外招待講演

Prof. Nicolas Fawzi, Prof. Rongchun Zhang,

Prof. Mitsuhiro Ikura

名誉会員推戴・特別講演

嶋田一夫先生 (理研)

功労者推戴・記念講演

片平正人先生 (京都大)、

楯 眞一先生 (広島大)

甲斐荘正恒先生追悼セッション

Prof. Peter Wright, Prof. John Markley,

Prof. Hideo Akutsu

懇親会：2026年10月22日 (木)

東武ホテルレバント東京

(JR総武線・東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅前)

チュートリアルコース: 2026年10月20日(火)午後

慶應義塾大学薬学部中講堂 (都営三田線 御成門駅、都  
営大江戸線・浅草線 大門駅、JR浜松駅)

# 2026年度奨励賞 授賞式

小形 公亮 氏（京都大学大学院薬学研究科）

「キナーゼ基質選択的高感度リン酸化プロテオーム解析基盤の構築」

宗兼 将之 氏（金沢大学医薬保健研究域薬学系）

「ナノ粒子を基盤とした核医学診断・治療薬の開発」